

学術研究賞および助成金候補者の推薦について

本会は、他の団体が贈呈する賞や助成金に対して会員諸氏の優れた研究業績を推薦するために、学術研究賞および助成金の推薦を行っています。本会に対して下表のような各種賞・助成金候補者の推薦依頼がありますので、推薦を希望される本会会員は、それぞれの賞・助成金の正式の応募用紙を用いて、本会あてお申し出下さるようお願いいたします。推薦委員会で検討のうえ、適当と認めた場合には本会より当該団体へ推薦いたします。

※必ずご応募の前に、事務局あてにお問い合わせください。

(他機関賞・研究助成 係宛)e-mail: syn.org.chem@tokyo.email.ne.jp

| 賞 名 | 団 体 名 | 提出先締切日 | 本会締切日 | 賞・助成の対 象 |
|--|---|--------|--------|--|
| 日本学術振興会賞 | (独)日本学術振興会 TEL 03-3263-0912 〒102-0083 千代田区麹町 5-3-1 | 4月上旬 | 2月20日 | 創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を早い段階から顕彰し、その研究意欲を高め、研究の発展を支援し我が国の学術研究水準を世界のトップレベルにおいて発展させることを目的とする。 |
| 育 志 賞 | (独)日本学術振興会 TEL 03-3263-0912 〒102-0083 千代田区麹町 5-3-1 | 6月上旬 | 4月20日 | 将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待され、大学院における学業成績が優秀で、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる方 |
| 文部科学大臣表彰 科学技術賞及び 若手科学者賞 | 文部科学省研究振興局 TEL 03-5253-4111(内線:4071) 〒100-8959 千代田区霞が関 3-2-2 | 7月下旬 | 6月20日 | 研究開発、理解増進等で顕著な成果を収めた者の功績を讃え、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、科学技術水準の向上に寄与することを目的とする。 |
| (1) 岩谷直治 記 念 賞 (2) 岩谷科学技術 研 究 助 成 | (公財)岩谷直治記念財団 TEL 03-6225-2400, FAX 03-3231-7070 〒104-0028 中央区八重洲 2-4-11 八重洲 h+ビル 3 階 | 8月31日 | 7月15日 | (1) エネルギーおよび環境に関する優れた技術開発で、かつ顕著な産業上の実績が認められている業績を表彰することにより、斯界の一層の発展を図り、国民生活の向上に寄与することを目的とする。 (2) エネルギーおよび環境に関する独創的で優れた研究に対して助成を行うことにより、科学技術の一層の発展を図り、国民生活の向上に寄与することを目的とする。 |
| 井上 学 術 賞 | (公財)井上科学振興財団 TEL 03-3477-2738, FAX 03-3477-2747 〒150-0036 渋谷区南平台町 15-15 南平台今井ビル 601 | 9月17日 | 8月10日 | 自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた50歳未満(9月20日時点)の研究者に対し贈呈する。 |
| (1) 東レ科学 技 術 賞 (2) 東レ科学技術 研 究 助 成 | (公財)東レ科学振興会 TEL 03-6262-1655, FAX 03-6262-1901 〒103-0021 中央区日本橋本石町 3-3-16 (日本橋室町ビル) | 10月8日 | 8月20日 | (1) 自然科学の分野で学術上の業績が顕著な方、学術上重要な発見をした方、効果が大きい重要な発明をした方、技術上重要な問題を解決して技術の進歩に大きく貢献した方。 (2) 自然科学の分野で国内の研究機関において、自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者(原則として推薦時45歳以下)。 |
| 市 村 賞 (1) 市村産業賞 (2) 市村地球環境 産 業 賞 | (公財)市村清新技術財団 TEL 03-3775-2021, FAX 03-3775-2020 〒143-0021 大田区北馬込 1-26-10 | 11月20日 | 10月10日 | (1) 我が国の科学技術の進歩、産業の発展に顕著な成果をあげ、産業分野の発展に多大な貢献・功績のあった技術開発者。 (2) 地球環境の保全、特に地球温暖化防止に関する産業分野において優秀な国産技術を開発することで多大な貢献・功績のあった技術開発者。 |
| 藤 原 賞 | (公財)藤原科学財団 TEL 03-3561-7736, FAX 03-3561-7860 〒104-0061 中央区銀座 3-7-12 | 12月15日 | 10月30日 | 科学技術の発展に卓越した貢献をされた日本国籍の研究者に対し、これまでの業績を顕彰し、その業績が今後の研究分野の更なる飛躍・発展をもたらすことを考慮し選考する。 |